

•昭和55年吉例•

神戸酒徒番附選考座談会

東 / 番附選考委員 / 文化界

松井高男 〈神戸新聞出版センター常務取締役〉
佐藤廉基 〈元町画廊〉
有井基 〈神戸新聞学芸部次長〉

西 / 番附選考委員 / 経済界

三輪吉郎 〈三輪運輸工業株式会社取締役社長〉
木下健輔 〈三富商店取締役社長〉
菊水啓輔 〈菊水総本店取締役社長〉

★新横綱／鴨居玲が誕生

——いよいよ八十年代になりましての酒徒番附表、古参が守り抜きますか新人が出ますか。最近の街の話題を入れながら、三役から伺いましょう。

A 取組場所が三宮中心でなくなりましたね。六甲、岡本も多い。

C 三次会、四次会では三宮に出でくるね。やっぱり。

A 溜まるのもグループでたまたまつたりつき合つたり。

D 沢山ありますね、グループは。

Aイトナック、バーポンクラブ、ワインサロン……。

A それに絵描きの集団……。

C でもそれがクロスしている。

Kロスオーパー集団（笑）だ。

B 神戸はバーティがやつたら多いからやね。まつり酒（笑）だ。

A 出版記念バー、ティも多い。

D そういうえば鴨居玲が素描画集を出した。

C いい画集だね。

A ところで横綱の陳舜臣だけど

B 年は大丈夫かな。停年じゃない？

D チュ一太郎だから大正十三年生まれ、五十六だね。

C となると中西勝、市野弘之も

B 同い年だ。
C えらいこつちや（笑）。ず一つ

と押し上ってきて鴨居玲新横綱誕生ということになるのかな。

A 立派な横綱だ。

B 筒井康隆 最近は純文学風ないいSFを書いています。あんまり神戸に出てこないというので検査役だったが復活してもらつたらどう？

A いいですね。三役も上位だ。

B 戦線復帰（笑）だね。

C 内藤国雄もね、去年はいい仕事をしたよ。

A タ刊フジに連載していたのを一冊に纏めるとか。

B 戰線復帰（笑）だね。

C 話題の人というと灰谷健次郎児童文学とともに組んできている。

A 田辺聖子もいいね。女の横綱つてあったかな。

B 乾由明も仕事の方では抜群だ

C なかつたね、横綱にしたらダントンの方が喜ぶかな（笑）。

B 唄う。どこで覚えるんかな。

C 三役入りしてもいいと思う。

A 飲むのはどうですか。

B 面白い。カラオケですね、よく

C 唄う。どこで覚えるんかな。

B 乾由明も仕事の方では抜群だ

C 野口武彦もよく飲むね。神大

N O 1だそうだ（笑）。

D 山口牧生 仕事はいいけどあ

B んまり飲まない。でも人柄で大閑。

B 松本宏は飲み過ぎる。でも今

●東／文化人／三役大幅に入れ替え



Yu井 基さん



佐藤 廉さん



松井高男さん

話題を提供してくれた。

B 妹の新谷英子、一年間のヨーロッパを経過してよくなつたね。

D 宇部野外彫刻展で大賞を受賞の田中薰。

B 河口龍夫も着実な仕事ぶり。

B 河口龍夫も着実な仕事ぶり。

A 宮崎豊治のキタノサーカスの個展が乾さんに評価されていた。

D 音楽では「トスカ」を唄つた松本幸三、神戸フィルハーモニックの朝比奈千足。

C 常任指揮者だ。頑張つてもらわんとあかんよ。

A かんべむさしも入れとかないかんね。

B 売れっ子だね。

C 植松奎二が帰つてきて、京都で個展を開いたね。

D こつちにいたら前頭だね。

B 夏目俊二のコメディ・ド・フウゲツはよかつた。

C 劇団神戸のものでは一番良かつたんじゃない。

B 増田洋も前頭に入れていいんじゃないかな。

C 評論家だからトリで。

B 増田洋も前頭に入れていいんじゃないかな。

C 聖書シリーズは素晴らしいね。

D 小野真須美もおもろいで。

B カルダーニ展の座談会に、齊藤智とひっぱり出されている。

C 白石弘子、畠マス子がそれぞれ店を開いた。

D A 白石弘子は昼間の仕事の方もよくやつてる。頑張っているね。

B 小野真須美もおもろいで。

C A 聖書シリーズは素晴らしいね。

D B 井植文化賞の荒木高子は抜群だが、年が停年かな。

B D 市野弘之のかわりに、息子の市野年成。最近よく出て来る。

C A 和子、ラジオ関西の今崎陽吉。

D B 放送関係ではサンTVの村上和子、ラジオ関西の今崎陽吉。

C A 村上和子はよく頑張るねえ。

D B 去年の話題をよんだのは、藤間緑寿郎が若柳吉金吾を襲名。

B 中村茂隆。地味だけど着実な仕事をしている。

A 貴重な人ですね、この人は。

D 仮名手庵歌舞伎の海野光子、いい仕事だけど飲まないので残念の山本芳樹も面白い本を出した

C 停年かな、もう。

B それに飲まないね。

A 織田正吉はコンサートに頑張つている。

D 伊藤ルミ、神戸俱楽部でリサイタルを開いたね。

A 彼女、安水穂和の教え子なんだって。

C 詩人では岡見裕輔、入幕させてもいいだろう。

B A 聖書シリーズは素晴らしいね。

C C 聖書シリーズは素晴らしいね。

D D 小野真須美もおもろいで。

B B 井植文化賞の荒木高子は抜群だが、年が停年かな。

C C カルダーニ展の座談会に、齊藤智とひっぱり出されている。

D D 小野真須美もおもろいで。

B B 市野弘之のかわりに、息子の市野年成。最近よく出て来る。

C C 聖書シリーズは素晴らしいね。

D D 市野弘之のかわりに、息子の市野年成。最近よく出て来る。

B B 放送関係ではサンTVの村上和子、ラジオ関西の今崎陽吉。

C C 村上和子はよく頑張るねえ。

D D 去年の話題をよんだのは、藤間緑寿郎が若柳吉金吾を襲名。

B ★齊藤智のプロの仕事を評価



菊水啓輔さん



木下 健さん



三輪吉郎さん

C たというのは他都市に對してのええアピールになるし、元氣あるわぜひ土俵に登場願おう。

A 「るふらん」の浦野久子もよう飲むわ、ええ店やし。

A 宮田組の宮田喜夫の活躍も見逃せないな。

B 昨年度殊勲賞の三木重昭は話題の波が過ぎたので今回は下りてもらおう。

C 弁護士の阿部清治は弁護士会の副会長を務めたり酒品もええよあつ、そや。生田神社の権宮司、加藤隆久が新館を建てて頑張ったから今年度は経済人になるらしいよ。(笑)

D 十二筆頭が適所だな。

C 小林博司は安定株。「千」の千葉和子は「飲んで死ぬんや」いうとつたで(笑)

C 本を書いたり、大学で教鞭をとつたりで文化人の方が適所のように思えるし難いな。

D 商売柄、勝負検査役が相応し

いんじやないか。

D キムラタンの木村豊、会社の業績もいいし、良い酒だ。ジャヴァの細川数夫も若いけど仕事は順調に伸びているよ。

C 企業の成績もいいらしいな。

A 「鈴」の山田昌子も置いとかんといかん。

B 商先とはいえ、よう飲みよる前頭陣が出揃つて充実して

D フレッシュニ新人に登場願おういるよ、まず北野クラブの浅木幸雄、神港農園芸の大森繁基がよく頑張ったな。

C 賛成。可愛いし人柄もえい。

B 摩耶商事の五代友和、寺崎食品の寺崎繁幸も、入幕させたい。

A 「キヤンティ」の榎晴夫もはずせない人物だ。

C 南豊太郎、これもよろしいなノザワの野沢太一郎を見進させてはどうかな。なかなか味のある人物だ。

D 十二筆頭が適所だな。

C 小林博司は安定株。「千」の

A 神戸に本社を移して頑張ったカネボウベルエイシーの稻岡必三もなかなかの活躍ぶりだ。

B 木下章夫、乾英文の兩人、仕事も酒も順調だね。

D 和田憲章も土俵に残しておきたいなあ。

A 飲めないけどしょっちゅう取組場所に顔を出している浅井二郎を砂かむりに新しく入れよう。

C 殊勲賞は畠崎広敏に

A ご苦労さん、という意味で敢つた井植貞雄を押したいね。

B 青年会議所理事長でよう頑張った井植貞雄がぴったりだ。神戸のファッショソ業界にとって功績は大きいよ。

D 技能賞というのが難しいな。

A 前回の菊水さんに匹敵する相手がなかなかおらん(笑)

B 寺本滉はどうや。

C ベテラン陣の中から選ぼう。

D あれは技能派やな。(笑)

C あれは技能派や。(笑)

B 病気したけど一ヶ月だけ。寸

前まで活躍してた。

A 若いけど若年寄的な存在で技

能賞に相応しい。

D めでたく三賞決定。今年度は若手陣に治まりました。

日本の四季の中で
日本人のためのワインをつくる。



ハーベスト(赤・白・ロゼ) 1,000円
(小売見込価格)

ひたすら品質
マンズワイン
Distributed by KIKKOMAN

さるのこしあけ
は 梅 プラス
はちみつ

丹波のさる酒

昔から難病によく効くと評判の高い「さるのこしあけ」。中でも貴重品扱いとされてきた薬芝から抽出したエキスと蜂蜜、梅の実などで造られたのがこの「丹波のさる酒」です。



(名) 西山酒造場

兵庫県氷上郡市島町中竹田
電話 (07958) 6-0331(代)

神戸酒徒番附

殊勲賞 技能賞 敢闘賞 灰谷健次郎 砂かむり 海今藤西山浅鳥玉森瀧 野岡本村本井越井本川 光頃ハ芳二新泰博 子子ミ功樹郎哲吉好司 (東方)取組場所 ・ス・メシ・ト喜糸 六・おヒイ・テノ八平 申森・ホラ・イリ・ 坂井や・ワソ・フレ京工 道店・・蘭・・しき・ 神山の・ナ・やれ・ 栄芦花屋・つねなエ 珍時屋・た・い・ル 代・ほん・イ・・・ G・デ・・フ・シ・イ E・マイ・ク・ツ・アル・ N・コラ・亭・ニ・バ・ ハコ由・シ・ム・・ 一・ブ・加・ユ・ロ・デ・ サ・本・リ・バ・利・ガ・ キン・・	殊勲賞 技能賞 敢闘賞 畠崎広敏 西口阪藤谷口月井辺居 保武春由国健牧美康聖 文彦(洋画)明雄(評論)郎生佐(将棋)隆(文学)子(書刻)玲(作家) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 増宮夏か新堀増島河朝鶴松斎新小松 ん比田崎目べ谷尾田口奈田本藤谷山本 豊俊む英貞正京龍千勝幸秀乃 里洋治二・子治和子夫足次三智紀子宏 評演作形造作造作造音建音放 論形劇刻形家形家形葉形刻送 十十十十十十十十十十 両両両両両両両両両両両両 市村岡小丘烟白吉花新伊若中安末織 野上見野石田柳井藤柳村水広田 年和裕真アマ弘泰芳ル吉茂稳光正 須つス惠金 成子輔美し子子巳子満吾隆和夫吉 (陶芸)放詩漫工染色邦音樂邦音樂 (芸芸)送芸工芸色道邦音樂邦音樂 野崎田内本田崎本島村野 成俊正文廣達光忠 明作和力久六敏混司治博 (証券)金(金融)食(食品)海(運)鐵(工)敏(織維)混(食品)司(珈琲)治(製菓) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 川有白西戸田吉浦阿岩川山木細宮井 上沢川山村田野部本西田村川田植 正祥早久清起章昌数喜貞 代 勉武算興三厚苗子治子二子二子農夫夫雄 機病製病院院貿易院院院 牛柏中長秋陳小足 尾井内部田島立 吉健文博舜輝巻 郎一切郎正臣正一 野林葉岡木宮下代田木森崎本 太博和必英重章豊友憲幸晴繁哲 太郎司子三文昭泰夫郎和昌雄夫基幸夫 (貿易)貿易(船運)建築(業)真珠(製園) 編集室神戸つ子 勧進元 番附審査員 有松佐木菊三 井藤下水輪 高啓吉 基男廉健輔郎
技能賞 敢闘賞 畠崎広敏 西口阪藤谷口月井辺居 保武春由国健牧美康聖 文彦(洋画)明雄(評論)郎生佐(将棋)隆(文学)子(書刻)玲(作家) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 増宮夏か新堀増島河朝鶴松斎新小松 ん比田崎目べ谷尾田口奈田本藤谷山本 豊俊む英貞正京龍千勝幸秀乃 里洋治二・子治和子夫足次三智紀子宏 評演作形造作造作造音建音放 論形劇刻形家形家形葉形刻送 十十十十十十十十十十 両両両両両両両両両両両両 市村岡小丘烟白吉花新伊若中安末織 野上見野石田柳井藤柳村水広田 年和裕真アマ弘泰芳ル吉茂稳光正 須つス惠金 成子輔美し子子巳子満吾隆和夫吉 (陶芸)放詩漫工染色邦音樂邦音樂 (芸芸)送芸工芸色道邦音樂邦音樂 野崎田内本田崎本島村野 成俊正文廣達光忠 明作和力久六敏混司治博 (証券)金(金融)食(食品)海(運)鐵(工)敏(織維)混(食品)司(珈琲)治(製菓) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 川有白西戸田吉浦阿岩川山木細宮井 上沢川山村田野部本西田村川田植 正祥早久清起章昌数喜貞 代 勉武算興三厚苗子治子二子二子農夫夫雄 機病製病院院貿易院院院 牛柏中長秋陳小足 尾井内部田島立 吉健文博舜輝巻 郎一切郎正臣正一 野林葉岡木宮下代田木森崎本 太博和必英重章豊友憲幸晴繁哲 太郎司子三文昭泰夫郎和昌雄夫基幸夫 (貿易)貿易(船運)建築(業)真珠(製園)	技能賞 敢闘賞 畠崎広敏 西口阪藤谷口月井辺居 保武春由国健牧美康聖 文彦(洋画)明雄(評論)郎生佐(将棋)隆(文学)子(書刻)玲(作家) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 増宮夏か新堀増島河朝鶴松斎新小松 ん比田崎目べ谷尾田口奈田本藤谷山本 豊俊む英貞正京龍千勝幸秀乃 里洋治二・子治和子夫足次三智紀子宏 評演作形造作造作造音建音放 論形劇刻形家形家形葉形刻送 十十十十十十十十十十 両両両両両両両両両両両両 市村岡小丘烟白吉花新伊若中安末織 野上見野石田柳井藤柳村水広田 年和裕真アマ弘泰芳ル吉茂稳光正 須つス惠金 成子輔美し子子巳子満吾隆和夫吉 (陶芸)放詩漫工染色邦音樂邦音樂 (芸芸)送芸工芸色道邦音樂邦音樂 野崎田内本田崎本島村野 成俊正文廣達光忠 明作和力久六敏混司治博 (証券)金(金融)食(食品)海(運)鐵(工)敏(織維)混(食品)司(珈琲)治(製菓) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 川有白西戸田吉浦阿岩川山木細宮井 上沢川山村田野部本西田村川田植 正祥早久清起章昌数喜貞 代 勉武算興三厚苗子治子二子二子農夫夫雄 機病製病院院貿易院院院 牛柏中長秋陳小足 尾井内部田島立 吉健文博舜輝巻 郎一切郎正臣正一 野林葉岡木宮下代田木森崎本 太博和必英重章豊友憲幸晴繁哲 太郎司子三文昭泰夫郎和昌雄夫基幸夫 (貿易)貿易(船運)建築(業)真珠(製園)
技能賞 敢闘賞 畠崎広敏 西口阪藤谷口月井辺居 保武春由国健牧美康聖 文彦(洋画)明雄(評論)郎生佐(将棋)隆(文学)子(書刻)玲(作家) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 増宮夏か新堀増島河朝鶴松斎新小松 ん比田崎目べ谷尾田口奈田本藤谷山本 豊俊む英貞正京龍千勝幸秀乃 里洋治二・子治和子夫足次三智紀子宏 評演作形造作造作造音建音放 論形劇刻形家形家形葉形刻送 十十十十十十十十十十 両両両両両両両両両両両 市村岡小丘烟白吉花新伊若中安末織 野上見野石田柳井藤柳村水広田 年和裕真アマ弘泰芳ル吉茂稳光正 須つス惠金 成子輔美し子子巳子満吾隆和夫吉 (陶芸)放詩漫工染色邦音樂邦音樂 (芸芸)送芸工芸色道邦音樂邦音樂 野崎田内本田崎本島村野 成俊正文廣達光忠 明作和力久六敏混司治博 (証券)金(金融)食(食品)海(運)鐵(工)敏(織維)混(食品)司(珈琲)治(製菓) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 川有白西戸田吉浦阿岩川山木細宮井 上沢川山村田野部本西田村川田植 正祥早久清起章昌数喜貞 代 勉武算興三厚苗子治子二子二子農夫夫雄 機病製病院院貿易院院院 牛柏中長秋陳小足 尾井内部田島立 吉健文博舜輝巻 郎一切郎正臣正一 野林葉岡木宮下代田木森崎本 太博和必英重章豊友憲幸晴繁哲 太郎司子三文昭泰夫郎和昌雄夫基幸夫 (貿易)貿易(船運)建築(業)真珠(製園)	技能賞 敢闘賞 畠崎広敏 西口阪藤谷口月井辺居 保武春由国健牧美康聖 文彦(洋画)明雄(評論)郎生佐(将棋)隆(文学)子(書刻)玲(作家) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 増宮夏か新堀増島河朝鶴松斎新小松 ん比田崎目べ谷尾田口奈田本藤谷山本 豊俊む英貞正京龍千勝幸秀乃 里洋治二・子治和子夫足次三智紀子宏 評演作形造作造作造音建音放 論形劇刻形家形家形葉形刻送 十十十十十十十十十十 両両両両両両両両両両両 市村岡小丘烟白吉花新伊若中安末織 野上見野石田柳井藤柳村水広田 年和裕真アマ弘泰芳ル吉茂稳光正 須つス惠金 成子輔美し子子巳子満吾隆和夫吉 (陶芸)放詩漫工染色邦音樂邦音樂 (芸芸)送芸工芸色道邦音樂邦音樂 野崎田内本田崎本島村野 成俊正文廣達光忠 明作和力久六敏混司治博 (証券)金(金融)食(食品)海(運)鐵(工)敏(織維)混(食品)司(珈琲)治(製菓) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 川有白西戸田吉浦阿岩川山木細宮井 上沢川山村田野部本西田村川田植 正祥早久清起章昌数喜貞 代 勉武算興三厚苗子治子二子二子農夫夫雄 機病製病院院貿易院院院 牛柏中長秋陳小足 尾井内部田島立 吉健文博舜輝巻 郎一切郎正臣正一 野林葉岡木宮下代田木森崎本 太博和必英重章豊友憲幸晴繁哲 太郎司子三文昭泰夫郎和昌雄夫基幸夫 (貿易)貿易(船運)建築(業)真珠(製園)
技能賞 敢闘賞 畠崎広敏 西口阪藤谷口月井辺居 保武春由国健牧美康聖 文彦(洋画)明雄(評論)郎生佐(将棋)隆(文学)子(書刻)玲(作家) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 増宮夏か新堀増島河朝鶴松斎新小松 ん比田崎目べ谷尾田口奈田本藤谷山本 豊俊む英貞正京龍千勝幸秀乃 里洋治二・子治和子夫足次三智紀子宏 評演作形造作造作造音建音放 論形劇刻形家形家形葉形刻送 十十十十十十十十十十 両両両両両両両両両両両 市村岡小丘烟白吉花新伊若中安末織 野上見野石田柳井藤柳村水広田 年和裕真アマ弘泰芳ル吉茂稳光正 須つス惠金 成子輔美し子子巳子満吾隆和夫吉 (陶芸)放詩漫工染色邦音樂邦音樂 (芸芸)送芸工芸色道邦音樂邦音樂 野崎田内本田崎本島村野 成俊正文廣達光忠 明作和力久六敏混司治博 (証券)金(金融)食(食品)海(運)鐵(工)敏(織維)混(食品)司(珈琲)治(製菓) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 川有白西戸田吉浦阿岩川山木細宮井 上沢川山村田野部本西田村川田植 正祥早久清起章昌数喜貞 代 勉武算興三厚苗子治子二子二子農夫夫雄 機病製病院院貿易院院院 牛柏中長秋陳小足 尾井内部田島立 吉健文博舜輝巻 郎一切郎正臣正一 野林葉岡木宮下代田木森崎本 太博和必英重章豊友憲幸晴繁哲 太郎司子三文昭泰夫郎和昌雄夫基幸夫 (貿易)貿易(船運)建築(業)真珠(製園)	技能賞 敢闘賞 畠崎広敏 西口阪藤谷口月井辺居 保武春由国健牧美康聖 文彦(洋画)明雄(評論)郎生佐(将棋)隆(文学)子(書刻)玲(作家) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 増宮夏か新堀増島河朝鶴松斎新小松 ん比田崎目べ谷尾田口奈田本藤谷山本 豊俊む英貞正京龍千勝幸秀乃 里洋治二・子治和子夫足次三智紀子宏 評演作形造作造作造音建音放 論形劇刻形家形家形葉形刻送 十十十十十十十十十十 両両両両両両両両両両両 市村岡小丘烟白吉花新伊若中安末織 野上見野石田柳井藤柳村水広田 年和裕真アマ弘泰芳ル吉茂稳光正 須つス惠金 成子輔美し子子巳子満吾隆和夫吉 (陶芸)放詩漫工染色邦音樂邦音樂 (芸芸)送芸工芸色道邦音樂邦音樂 野崎田内本田崎本島村野 成俊正文廣達光忠 明作和力久六敏混司治博 (証券)金(金融)食(食品)海(運)鐵(工)敏(織維)混(食品)司(珈琲)治(製菓) 前前前前前前前前前前前前前頭筆 頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭頭 川有白西戸田吉浦阿岩川山木細宮井 上沢川山村田野部本西田村川田植 正祥早久清起章昌数喜貞 代 勉武算興三厚苗子治子二子二子農夫夫雄 機病製病院院貿易院院院 牛柏中長秋陳小足 尾井内部田島立 吉健文博舜輝巻 郎一切郎正臣正一 野林葉岡木宮下代田木森崎本 太博和必英重章豊友憲幸晴繁哲 太郎司子三文昭泰夫郎和昌雄夫基幸夫 (貿易)貿易(船運)建築(業)真珠(製園)

酒を飲んで人間回復や



灰谷健次郎

<児童文学学者>

新谷 瑛紀

<彫刻家>

小西 保文

<洋画家>

★忘却られない初体験の味

小西 僕が初めて酒を飲んだのは終戦直後でして、その頃というのはいい酒がない時代で、爆弾という、焼酎をラムネで割ったやつでしたね。初めて飲んだ時、ひっくり返りましたね。

灰谷 僕はちょっとと早かったですね。五才の時から継続して飲んでますわ。

小西 それは早すぎる。

灰谷 というのはね、親父が酒飲みでして、キャンピング持つて酒を買にやらされてたんです。昔は樽酒でね、酒屋で樽からトットツツッ入れてもらつて持つて帰つてくるんですが、昔の酒は甘いえにおいがしてましたね。

新谷 ええにおいてて、子供の時から素質充分ですね。(笑)

灰谷 それで子供心にこれは絶対に美味しいものやと思って、キャンピンから盛み飲みをしたんです。これが美味かつた。(笑) あんまり飲むとばれてしまうから、ばれな

い程度に飲むわけ。小学校へ行く前やから、五才ぐらいの時でしたね。飲みすぎたらカンパンに水を入れて調節しといてね。その時分からそんな悪いことしてた。僕が酒飲みになつたのは親が悪いんですね。(笑) 小さい子供に酒を買ひに行かせるもんやないです。(笑) しかしあ時の酒の美味さというは鮮烈に覚えてますね。

新谷 僕の酒初体験はソフトでしたね。というのは疎開してた時に飲んだ甘酒で、確か小学校の一年生の時でした。甘酒でのびてしまつてね、それ以来酒というものは何となく気持ちええけど、飲んだ後は不愉快やという感覚を覚えてますね。その後飲んだのはウイスキーで、戦後、疎開から神戸に戻ってきて、親父がアトリエを開放して研究所を開いていたんです。親父にクリスマスプレゼントだとかでジョニ黒を持って来てたようと思う。親父がこれは美味しい酒やといって、まあ一口飲んでみろつてことで飲んだわけ。飲んだとたん口の中が火のついたようになつてね。しかし後にその芳香が残つてゐるんです。そんな酒が美味しい酒なんだと親父に教えられたわけ。これが洋酒の初めてでしたね。だから今でもスコッチというとジ

ヨニ黒しか飲みたくない感じやね。あの時の美味しさは今も忘れないということかな。でも今入れて調節しといてね。その時分飲んだところである時の味とずいぶん違つてますね。

小西 初体験の味やな。(笑) 僕は初めつからトリスばかり飲んでましたでしょ。だからいままでウイスキーの銘柄は区別できませんね。水割りにして飲んでみたらいいか悪いかはわかるけど、銘柄まではわかりませんね。

灰谷 悪い酒つてのは僕も知つてますよ。僕は定時制高校に通つてたんですが、それで、その頃から飲つてたわけで……。学校の先生が悪いんや。(笑) 給料日のたびに「先生! 飲みに行こ」と誘つてタカラるんです。「つきあたりに行こ」いうてね。つきあたりといふのはね、ストリップ劇場がつきあたりにあるわけ、その角に、今もあるけど、串カツ屋さんがあつて、そこでおごつてくれるんですか。サカナは必ずイワシの天ぷらでね。安酒とそのイワシをおごつてもらつて、つきあたりのストリップ劇場へ行くつてのが僕らの高校時代の楽しみやつたわけ。

新谷 ようやるわ。

灰谷 その頃なんですが、その近所に、今はなくなつてしまつてしまけど、泡盛屋があつたんです。泡盛つてのは本当はいい酒なんですね。そこには多くの生徒が入学あたりにあるわけ、その角に、北出塔次郎という先生がいまして毎週一回先生に呼ばれるんです。だけどみんな遠慮してあんまり飲まなかつたから、先生に「君ら酒飲まへんのか。酒飲まへんかったらええ芸術家になれへんゾ。ええ芸術家は皆、酒くらうんや。これにしようつちゅう料理屋に連れていかれたんです。酒の飲み方、味わい方を教えられ、飲ませれて、それで、結果的には身体こわしてし

すけど、その当時は悪い酒の代名詞みたいなものでしたね。多分、実際にそこのは悪い酒やつたと思うんです。ものすごく大きいから飲みづらくなつてね。それにラムネコ焼をサカナにして。これはもう最低の飲み方や。(笑) 五才で飲み始めて、高校でそういう飲み方をしてたから……。

新谷 僕の場合はそんなに強くはないんですけど、無茶苦茶に飲んだのは大学時代でしたね。今まで金沢美大に関西方面から行つた学生があまりいなかつたのに、僕らの時に京阪神から多くの生徒が入学してにぎやかになつたということです。有馬出身の今は亡き陶芸家の北出塔次郎という先生がいまして毎週一回先生に呼ばれるんです。まだどみんな遠慮してあんまり飲まなかつたから、先生に「君ら酒飲まへんのか。酒飲まへんかったらええ芸術家になれへんゾ。ええ芸術家は皆、酒くらうんや。これにしようつちゅう料理屋に連れていかれたんです。酒の飲み方、味わい方を教えられ、飲ませれて、それで、結果的には身体こわしてしまった。(笑)

★若い時には大いに酒の失敗を

小西 さつき泡盛の話がでたけどね、数年前、沖縄から泡盛が届いて、二紀会の連中で飲んだことがあつたんです。大きな壺に入った泡盛でね……。

灰谷 それ、古酒と書いてクースというヤツですよ。何年間か置いておく酒やから古酒いうんですけど、確かに美味しい酒や、あれは。小西 竹の杓がついててね、それですぐつて飲むんです。美味かってですよ、やっぱり。だけどその時普通の酔い方とちがつてね、みんなケンカし始めた。(笑) 普段はおとなしい連中やのにね。酒によって酔い方がだいぶちがうんやなと思いましたね。

灰谷 そんなことないでしょ。

小西 泣き戻戸になる時もあるし

灰谷 小西さんが泣き戻戸になるんですか。

小西 周りの雰囲気などによって泣いてみたりすることがあるらしいよ。

新谷 らしいって何でつか。

小西 はつきり覚えてないから。

(笑) 笑って止まらんこともありましたな。(笑)

新谷 そんなら両刀使いや。(笑)

小西 笑ったのはね、これは覚えてる。(笑) 何かのパーティで、

あの時はワインを飲んでたんやけど、歌えていわれてマイクを持ったとたん、急に笑いだしてね。止まらへん。結局歌えずじまいでしたね。(笑) 酒を飲むつていうより、飲まれる方やな。(笑) 酒よりも自分の状態で変わるんじようけどね。それに輪をかけてアルコールの度合いとか種類が微妙にからんで、笑ってみたり、泣いてみたり、いろいろするんでようね。(笑)

新谷 酒飲みになろうと思つたらね、いつべん身体こわさんとなれへんよ。(笑)

灰谷 そんなんいやや。

小西 そのままドクターストッズでもかかつたらえらいこつちや。

新谷 それを治したら、今度は本当に酒を味わうようになる。(笑)

灰谷 僕は酒クセの悪いのが大嫌いでね。酒飲んでからんできたり不愉快になつたり、変に助平になつたりね。饒舌になつたり、踊りだしたり歌いだしたりという程度

新谷 大学時代にBARを設計しましてね、設計代のかわりに飲み代がタダやつた。嬉しかつたね。教授に飲ませたり、タダ酒の飲みすぎで胃かいようになつてしまふ。それで神戸に帰ってきて二ヶ月間輸血で、ついにドクターストッズかけられた時はつらかったね。それから、私の好きな北原白秋のええ詩がある。空にまつ赤な雲の色／玻璃にまつ赤な酒の色／

★酒飲んで人間回復

新谷 つけても失敗しますよ。だけど失敗してもいいんです。ただし酒の失敗はできるだけ若い時にやつてある方がいい。若い時は感受性が非常に強く、酒の失敗をするとものすごい自己嫌悪に陥るんですね。僕もそんな体験がありましてね、高校の時に満員電車の中で吐いたことがあるんです。その時の恥かしさは忘れられない。いろいろあって、それだけはするまいというコントロールをしながら自分を律して酒を飲んできたようですね。

つけても失敗しますよ。だけど失敗してもいいんです。ただし酒の失敗はできるだけ若い時にやつてある方がいい。若い時は感受性が非常に強く、酒の失敗をするときの恥かしさは忘れられない。いろいろあって、それだけはするまいというコントロールをしながら自分を律して酒を飲んできたようですね。

新谷 大学時代にBARを設計しましたね、設計代のかわりに飲み代がタダやつた。嬉しかつたね。教授に飲ませたり、タダ酒の飲みすぎで胃かいようになつてしまふ。それで神戸に帰ってきて二ヶ月間輸血で、ついにドクターストッズかけられた時はつらかったね。それから、私の好きな北原白秋のええ詩がある。空にまつ赤な雲の色／玻璃にまつ赤な酒の色／の時は、グレナデンの水割りというのを飲んでましてね。アルコール分がないんですが、ルビーのような赤い色がまたきれいんですよ

ね。それから色のある酒を好んで飲むようになったようです。

灰谷 新谷さんは酒にロマンを持っていますね。僕なんかロマンどころか、リアリズムのかたまりみたいたいなもんや。(笑)

小西 僕らの年代は酒をたしなむというもんじやなくて、酔うためで飲むつてところがありますね。今日は酔うぞーってな感じでね、舌の上にころがして美味いなあって飲み方はしてませんね、恥かしながら。

新谷 身体こわしたら飲み方も変わるわ。(笑)

小西 毎日は飲まへんから、なかなか身体こわさへん。(笑)

灰谷 親父もいふんだけど、酒の味はわからへんとね。あれだけの酒飲みでもそんなんや。(笑)だけど酔うことも含めて酒の味やと思うんです。つまり酒の味はわからへんけど酔いたいから飲むつていうのは、実は本当はそうは思つてないんだと思うんです。酒つてのロマンチズムもあるし、逆に実際に見苦しいリアリズムのかたまりみたいなもんもあるしね。それに味覚的に美味しいこともあるしねそしてやさしさに囲まれて実に愉快な感じになる。そのようなことを全部含んでいるわけで、そんな食べ物つて他にはないでしょう。どんなにフグが好きな人がフグが

美味しいといつても、それは美味しいだけのことであつて、そういう人間の精神状態というか、気持ちまで引きだす食べ物つてのは飲み物としても、他に何もないですね。それが酒。そんな意味から独特の人間の知恵のかたまりみたいな飲み物であるなつて気がしますね。

小西 酒で救われる面もかなりあると思いますね。例えば精神治療というか、アメリカで精神病患者を治療する時に薬を与えて、酔っぱらいみたいにさせるらしいんですけど、まるで居酒屋なんかで見る日本人の酔っぱらいそつくりで、つまり日本人も酒を飲んでマナーが悪いとかいわれながら酔っぱらつてると、あれで結構精神治療されてるんではないかという気がするんですね。酒を飲んで、美味しいし、楽しんで、しかも自分の精神状態をコントロールできるとしたら、こんなええことはない。

灰谷 僕も、酒がなかつたら生きてるのもしんどいことありますよ。酒を止められたら、やっぱり困るやろうな、ねえ。(笑)新谷 僕は仕事を始めると食事する時間がもつたいない。だからエネルギー源として酒を飲むけれど全然酔わないですね。ところがホッとした時に飲んだら酔ってしまふね。でも酒飲んだから良いアイ

デアが生まれるとか、酒を飲まないと仕事ができないっていうことは全くありませんね。

灰谷 飲んでもちゃんとしてるわけや。僕は飲んだら仕事しないんじゃなくて、できませんね。酒というのは精神を緊張させて集中させるものではなく反対ですね。

小西 酒で救われる面もかなりあると思いますね。例え精神治療といふ方を誤まればたいへんなことになるし、上手に飲めばいい。要するに酒に飲まれるようではいかん。酒を飲まなきや、愛さなきやいかんと思うよ。

灰谷 僕の場合は仕事での緊張をどこで緩めるかということ、それが酒を飲むことみたいですね。そんな理屈はどうでもええわけですね。(笑)つまりそんなサイクルになつてしましたね、人間ってのはそういうサイクルでしかも生きられないのやないかと思いますね。だから僕は酒を飲むつてことを特別なことやとは思つてない。人間が生きてるうえでごく自然な営みやと思う。

小西 酒を飲むことで人間回復をしているわけや。酒飲んで発散して、何もかもなくなつてまた次の日からやるという活力を得るわけや。酒飲んで軽うじて回復しての気がしますよ、本当に。(笑)

女はころり、男は立つ酒



畠 マス子

<工芸作家>

伊藤 ルミ

<ピアニスト>

三枝 和子

<作家>

★女ひとりはミステリアスなお酒
畠 相手の男性がご主人とか彼とかいろいろあるけど、男と女と二人で飲むお酒はどうですか。

三枝 私は酒は二人で飲むより、二人の時は別のことって感じ(笑)

お酒も男性も、と二つにわかれれるものね。男性が良いと折角のお酒がね(笑)三、四人で話を弾ませて飲むのがいいわね。

畠 二人っきりというのは違った味になりますね(笑)

伊藤 男性には女性と一対一だと恥しがって何もしゃべらない人も多いんじゃないから。お酒でも入れて気分をほぐすとか、私なんかは二人っきりは経験ないけど:(笑)ちょっとお酒がある方がいいわね。

三枝 私はお酒のつまり話をするってことで一人で飲んでもいいんです。会社の付き合いでもなく、職業も名前すらわからない人とも飲み屋で会うと楽しく飲んでるんだから。

伊藤 ミステリアスな雰囲気に包

まれて飲むわけね（笑）。

三枝 お互い名乗らずにね。なかなかいいわよ。私はそういう時学校の先生と思われているらしいわ。

「学校の先生ですか？」と聞かれて、「ウフフ……」ってね（笑）。伊藤 ウフフ……だからミステリアスなのね。私すぐアハハ……だから（爆笑）でも笑い方が時期によつてかわって一時は「イヒヒ……」

（爆笑）皆に気持ち悪いからやめてくれ（笑）

畑 私は多勢の時が多いから、羽目をはずしすぎて、後悔ばかりするんですよ——翌朝起きると自己嫌悪に陥つて（笑）

三枝 自己嫌悪は酒につきものね

畑 その時は解放感があつて最高なんだけど：寝ざめが悪いと（笑）

伊藤 私は二日酔の経験はないのにお酒飲むと三時位にパッと目が覚めるの。熟睡できるのね。それでまた二度寝、三度寝ができるの。

三枝 伊藤さんも畑さんも手先の仕事だけど、お酒飲むと手許が狂いませんか。

畑 アルコールが入つてはまらないですね、片付いてからね。

三枝 私もアルコールが入ると絶対書かないですね。

伊藤 スナックなんかでピアノを置いてるでしょ。この頃でこそ酔つたまま、雑な演奏なりに楽しく弾けるんですが、最初は酔つてる

のに素面の状態に自分を戻して弾くのですぐくしかったです。

三枝 それもお酒の楽しさのひとつになつたわけですね。

伊藤 心から楽しくて弾きたいときはいいけど、無理矢理頼まれて弾くと鍵盤の白黒もはつきりしなかつたりしてね（笑）

★生田さんの鉄格子を飛び越えて畑 いつから飲んでるの。

伊藤 中学ぐらいからね。中学の時面白くないことがあってビールの大瓶を一気にクーッとあけて、それから十年間位ビールアルギーになって、ビールを飲んだら蒜がでましてね。

畑 私は親譲りで飲めるんですね。気が付いたら飲んでたという感じですね。いつからという記憶は、はつきりないです。

三枝 私はすごくはつきりしてて大学の卒業式の日からです。着物に袴姿で私は女性一人で三宮へ皆と飲みに行つたんです。そして初めて飲んだらなんぼでも飲めるんです（笑）周りの男性が皆ダウンしたのに平気で帰つたんです。それで袴の紐をほどいたら酔いつづけでワーッと回ってきてね（笑）きっと一本位飲んだんでしょうね。私は四十才ぐらいまでちょっと時間

伊藤 畑さんは酔いつづりもダメナミックなんでしょう。

畑 飲めるから飲んでしまうんですね。（笑）ワイワイ言つて飲んでたらいくらでも……という感じ。

三枝 お酒にまつわる奇行は？

畑 ついこの間もやつたんですよ。生田神社の駐車場の鉄格子を飛び越えてしまつてね。（笑）警察に勤めている男性と一緒に見ていた派出所のおまわりさんに叱られてね（笑）ところがよく覚えなくて、『どつから来た』い

伊藤 われても『あっちからきた』（笑）って返事したらしくて（笑）恐ろしいですねえ（笑）

の時の男性群はあまりに弱かつた

んですよね（笑）

伊藤 出だしは良かつたんですけどね。（笑）私はヤケ酒から始まつたから。

三枝 でも吉田健一さんという文芸評論家が生前酒仙と言われるぐらいいの人でしたが「最高の飲み方は酔い始めてからつぶれるまでの時間が長い人だ」といつてましたね。だからなんぼ飲んでも酔わないのはいくら威張つても味も素気もないわけですよ。だから伊藤さんの酔い方良いんじゃないですか

伊藤 量を制限してたらず一つといい加減でいきます（笑）お酒に弱いけど三枝先生のお言葉で自信がつきましたわ。（笑）

三枝 畑さんは酔いつづりもダメナミックなんでしょう。

畑 飲めるから飲んでしまうんですね。（笑）ワイワイ言つて飲んでたらいくらでも……という感じ。

三枝 お酒にまつわる奇行は？

畑 ついこの間もやつたんですよ。生田神社の駐車場の鉄格子を飛び越えてしまつてね。（笑）警察に勤めている男性と一緒に見ていた派出所のおまわりさんに叱られてね（笑）ところがよく覚えてなくて、『どつから来た』い

われても『あっちからきた』（笑）って返事したらしくて（笑）恐ろしいですねえ（笑）

はよくであるのよね。

三枝 自分で飲む店を始めて立場が逆になつて、お客様を観察してゐるんですけど、コロッと変わることですね。

三枝 コロッとの時、その人間が丸見えになるでしょ。良い変わり方とイヤな変わり方と別れます。どちらかといえば女はあまり変わらないから面白くないかもね。

男の人は微妙に違いがあつて、女の酔いつぶれは皆一緒ですよ(笑)

畠 お酒の力ってこわいですね。

三枝 それだけ男性は隠してゐる部分が多いのかしら。女は隠してゐるもののが少ないかもね。

畠 コロッと変わつても可愛ユク変わつた人とアツしようもないナというのと両タイプありますね(笑)

いくら地位がある人でも酔うと変わるのでね。

★ダンナはお茶漬、ワタシはお酒

伊藤 私は金時の火事見舞いほど

真赤になつてその後真青になつてね。でも家へ帰ると玄関で姿勢を正して『ただいま!』だつて酔つて帰ると叱られるもの。あんまり飲んでないけど、疲れたから寝る!

!(笑) つてベッドに入るやドタツとダウンするの(笑)

三枝 私はダンナの居る時は絶対ベレケになつては帰らないと決めているの、自分一人になつたら好きなようになるけど、ダンナが

飲めない人ですからね。ダンナはお茶漬け、私はお酒で。人種が違つてな感じで、ほんやり見てますね(笑)

三枝 昼間は男性と女性とあるけど、夜は飲める人と飲めない人と人種が違うと思うの。飲まない人は心にやましいことがないのね、立派ですよ。でも弱味のない人間つてのは全然面白くないわ

伊藤 でもウサを晴らすためにお酒飲んでる人つてトラになるし、イヤーネ(笑)

三枝 今の状態では女人の人でお酒を飲む人は本当に酒が好きで、男の人は中にはお酒があまり好きでなくとも女人の人が好きで、つまり酒に関して純粹でない人もいる

畠 大体、二手に分かれますね。

伊藤 でも本当に酒だけが好きという人より、女人の人もちょっと好きな人が話してて面白いんじゃないかな。

三枝 女性との会話もお酒を引き立たせる感じでね。

伊藤 昼間の付き合いは10年間あつても距離が縮まらないけど、お酒をいっぺん飲んだらバーンと心が通じ合つたりしてね。余分な時間がかかるないのね、お酒があると。あまり親しくなると困るけど

三枝 極端な例をあげると、行きつけの店で酔払つての時しか会わない人に昼間素面で会うとお互

に全然わからないのね(笑)

畠 最近は若い男の子が豪快に飲まなくなつてオモシロクナイ(笑)

三枝 男の人の体力が無くなり、冒險心がなくなったのね。自分の限界を早く知りすぎるのね。ボクチヤンもうここまで! てな具合ね。つぶれたりしないのね。私に言わせると二十才でオールドはせいたく。ホワイトで充分!(笑)

伊藤 『開けてみれば愛』の時代だから(笑) 三枝 だらーと飲むんじゃなくて、『俺は酔わない!』と言つて、『俺は酔わない!』と言つて、ダイダイ一本開ける。するとどんなに酔わない人でもひっくり返るわけ。そういう倒れ方してほしいわ。だらーと飲んで、五杯が限度度なんて、アホか!(笑)

伊藤 家にすつこんどれ!(爆笑)

三枝 現在は『五杯が限度よチャン』と『アル中チャン』としないのよね。ワアーッと飲むと立ち上がりれないわけ。立ち上がりれないのは男の酒じゃないわね。やっぱり、明朝はここで死んでるのとちがうかしらと思うくらいひっくり返つても、翌朝はすっかり知らん顔して出てくるっていう風でないと尊敬できないわね。

伊藤 男はつらいよ(笑) 普段威張つてゐるんだからいところみせつけの店で酔払つての時しか会わぬらわないとね。男の酒にも歴史があるんだから。(お可川にて)

ポートアイランド情報

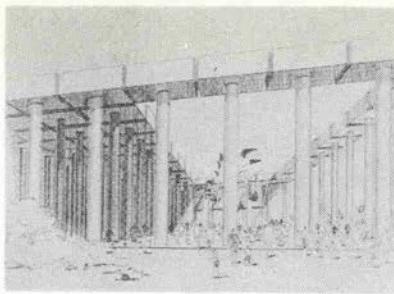
神戸ポートアイランド博覧会（昭和五十六年三月二十日～九月十五日開催）



市民広場はサンマルコ風に

★三井グループのパビリオン 海の童話をテーマに

三井グループの出展内容についての基本構想が発表された。それによると、二千九百平方㍍の敷地内に高さ十㍍の平屋ドーム式のペリオン「三井海の童話館」を建設。四つの巨大な玉手箱に区切って、それぞれに海の幻想を演じる。入口部分は、高さ十㍍の円柱六十本をならべて森のイメージを出し、続くドームには海の童話をテーマにした四つの「玉手箱」。



「三井海の童話館」完成予想図

せ。「波のおどり」は、弾力性のあるゴム状の素材で部屋全体をおおい、入場者は飛んだりはねたり身体を使って楽しむ。第三の玉手箱「人魚の唄」は、海辺をテーマにした映像ストーリーで静の世界をつくり、最後の「子供の神様」は、天井からキューピットと天馬をつり下げ、波状に動きまわる不思議な空間。

同グループは三井銀行、東レなど約六十社で構成され、総合プロデューサーには曾根幸一・東京芸大講師がつとめる。総事業費は約八億円。

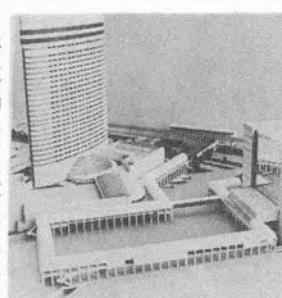
★ポートアイランド・市民広場はサンマルコ風に

ポートアイランドに建設される市民広場の構想が発表された。これは上田篤・大阪大学工学部教授によってまとめられたもので、イタリアのベニスにあるサンマルコ広場風にする計画。

そのによると、市民広場は、国際交流会館とポートピアホテルに囲まれる約一万五百平方㍍で、周囲には幅六㍍、全長三百六十五㍍のアーチ状屋根の二階建て回廊をめぐらせ、新交通システム市民広

場駅とも直結し、ギャラリーや広場での催し物の観覧席にも利用する。

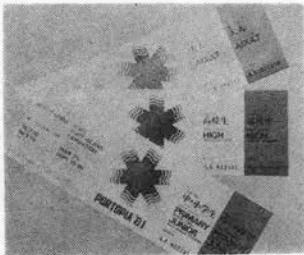
また広場は、花崗岩の石だたみにし、中央部は移動舞台、移動野外喫茶、催し物会場とし、広場正面には、陶芸作家の会田雄亮さんによる水のモニュメントを予定している。さらに広場の地下は二百台収容の駐車場となる。



市民広場の模型

★ポートピアのイベントのひとつは太平洋横断ヨットレースが決定。太平洋横断ヨットレースが計画されていてヨットレースが計画されていて、が、太平洋横断シングルハンド（単独無寄港）ヨットレースの開催が決定した。

★PORTOPIA PEOPLE★



★大高猛さん
入場券のデザイン

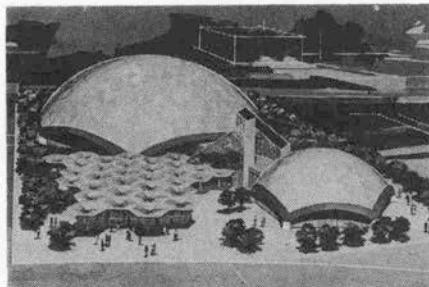
★三菱グループの三菱未来館
テマは「海と人間の明日」
三菱グループのパビリオン「三
菱未来館」の基本構想が発表され
た。それによると「海と人間の明
日」をテーマに最新の映像、音響
システム、光線技術が変化する造
型と一体となったダイナミックな
世界を開拓する。

中央広場北側に建つパビリオン
は、半球型ドーム二つで、人間と
ポートピア'81の入場券のデザイ
ンが決まった。

入場券は、縦七枚、横二十一枚
で、中央部にシンボルマークを置
き、海洋の波をモチーフにして水
色と紫の多数の線による波模様を
描いて無限に広がる創造のイメー
ジを高めている。デザインは、四
十五年に開かれた万国博覧会のシ
ンボルマーク、さくらをデザイン
した大高猛さん（神戸市東灘区在
住）で、ポートピア'81のシンボル

スコットは神戸港—サンフランシ
スコ湾で、直線距離にして約一万
キロ。五十六年六月七日にスター
トするが、二十艇前後の参加を見
込んでいる。レースの所要日数は
四十～五十日程度となるが、ボー
トピア会場内にはレースの経過が
わかるパネルを展示し、各ヨット
と毎日の舞線交信で所在地を把握
して表示する。

同レースは国際レースとなるた
め、運営は日本外洋帆走が担当す
ることになる。



「三菱未来館」完成予想図

海との共存のイメージをシンプル
かつダイナミックに表現したもの
で、ドームの内側に回転廊回廊をつ
くり、ドーム内壁のスクリーンに
仕立てて、約十分間で「美しい太
平洋」「気象海象予測」「地震予知」「
資源の宝庫」を造型、映像、照
明映画社長）があたる。

★新中央市民病院の隣に

ボートアイランドに建設中の新

中央市民病院の南隣に「神戸市立
看護短期大学」（仮称）を建設す

る計画がまとまった。

敷地は一万五千六百平方㍍。鉄
筋コンクリート四階建ての本館と
学生ホールや体育館が入る鉄筋コ
ンクリート二階建ての別館を建設
する計画で、五十六年二月に完成
四月開校を目指している。

高度医療に対応する知識、技術
の習得を中心としたカリキュラムを
組む予定で、学科は、高卒後入学
する第一看護科（定員三百名、三
年制）と、准看護婦資格を持つも
のを対象とした第二看護科（定員
百五十名、二年制）で構成。

マーク審査委員長でもある。
前売券の発売は開会一年前の
三月二十日からで、博覧会協会
直売のほか、全国の旅行代理店
やプレイガイドで第一期二百万
枚（割引率約二割）、九月から
第二期（割引率約一割）の販売
予定。また前売券には通し番号
がついており、抽選で景品があ
る。前売券の販売目標は二百
万枚で、大人、高校生、中・小
学生の三種。

時に動くという未来の劇場風。

三菱グループとは、三菱商事、
三菱重工など三十四社で、総合ブ
ロデューサーには田中友幸氏（東
宝映画社長）があたる。